



きょうだい児へのかかわり ② ～きょうだいゲンカ～



おもちゃや食べ物を取り合ったり、順番を争ったり・・・きょうだいで一緒に過ごしていると、些細なことでケンカが始まってしまい、対応に困ってしまいます。

激しくケンカした後は、ケロっとしてまた一緒に遊びはじめますが、しばらくするとまたケンカ・・・お母さんは、ケンカのおさめ方について悩んだり、お子さんと一緒になってイライラしてしまいます。

きょうだいゲンカでは、子ども同士で激しく自己主張をぶつけ合っています。これは、他の友達や大人が相手ではなかなかできないことです。

子どもは、きょうだいゲンカを繰り返しながら、少しずつ自分なりに安全に自己主張する方法を見つけ、身につけていきます。そして、社会での人との距離の取り方や適切なコミュニケーションスキルへと応用させることができるようになっていきます。

子どもの心を育てる「きょうだいゲンカ」へのかかわり方は・・・

★ 先回りして介入したり口出しをせず、しばらく見守る。

ケンカが始まったからといってすぐに介入せず、子どもたちがどのように解決するのか、その様子を見守りましょう。

★ それぞれの子どもの気持ちを代弁し、共感してあげる。

ケンカの後や子どもが言いつけてきた時には、きょうだいのどちらか（特に上の子）だけ叱るのではなく、両方の思いや主張を適切な言葉に変えて伝えてあげましょう。

★ ケンカのルールを決めておく。

自分や相手を傷つける行動や物を壊す行動が見られ、危険だと感じたら介入しましょう。あらかじめ、子どもたちにルールを伝えておくことも大切です。

★ きょうだいで仲良く遊んでいる時に、たくさんほめてあげる。

優しくできた時や仲良く遊んでいる時には、すかさずほめてあげましょう。



ご相談のある方はお電話ください。

港北区福祉保健センター こども家庭支援課
こども家庭相談 540-2388

